

地域の中で学ぶ

～ふるさと大島を愛する子どもを育てる～

【柳井市 大島中学校区】

地域の概要

大島中学校区（旧大島町）は、古くから周防大島への玄関口であり交通の要衝として栄え、校区内の遠崎地区は、明治維新の志士に大きな影響を与えた僧月性の誕生地としても有名です。地域は大島瀬戸に面し、豊かな自然と温暖な気候に恵まれています。

平成 17 年から柳井市と合併し、校区には 3 小学校と 1 中学校があり、平成 20 年度コミュニティ・スクール指定、平成 21 年度から文科省のキャリア教育の地域指定を受けています。学校は純朴明朗な児童・生徒が多く、保護者・地域の温かい御支援をいただいています。

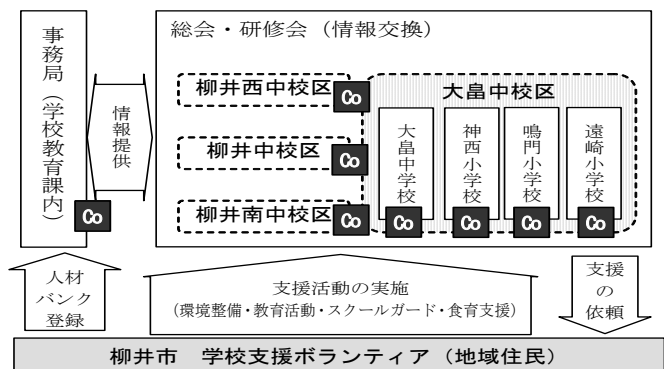
| | | |
|-------------|----------|------|
| 人 口 | 3,350 人 | |
| 世 帯 数 | 1,554 世帯 | |
| 対象校及び児童・生徒数 | 大島中学校 | 69 人 |
| | 遠崎小学校 | 24 人 |
| | 鳴門小学校 | 36 人 |
| | 神西小学校 | 64 人 |

組織の内容

1 柳井市学校支援ボランティア制度

柳井市では、全小・中学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会において地域住民が学校の運営について意見交換をしています。また、学校支援ボランティア制度も市全体で導入されており、各学校には地域住民による学校支援コーディネーターが 1 名ずつ配置され、平素の学校支援ボランティア活動のコーディネートに加え、市全体で実施する年 2 回の研修（総会・研修会）と事務局からの情報提供により各校の取組の情報交換を行っています。

柳井市学校支援ボランティア制度



Co: 学校支援コーディネーター

【主な支援活動の内容】

- ① 環境整備
草刈り・園芸指導・校内美化等
- ② 教育活動
学習・部活動・行事支援等
- ③ スクールガード
登下校時の見守り等
- ④ 食育ボランティア
食に関する活動支援等

大島中校区の実績（H23 1、2 学期 小・中合計）

| | 回 数 | 人 数 | 延べ人数 |
|---------------|-----|-----|------|
| 環 境 整 備 | 32 | 64 | 103 |
| 教 育 活 動 | 138 | 167 | 352 |
| ス ク ー ル ガ ー ド | 291 | 41 | 943 |
| 食育ボランティア | 10 | 36 | 38 |
| 計 | 471 | 308 | 1436 |

2 地域ぐるみで子どもを育てる推進会議（大島ブロック）

各地域の安心・安全な学習環境や生活環境を確保するため、市内を 4 ブロックに分けて活動しています。大島ブロックでは自治会、駐在所、婦人会、民生児童委員、地域ボランティア、保育、学校関係者、PTA、教育委員会等、計 34 名で構成されています。年 2 回の全体会議のほか、各地域での見守り活動や、学校と地域の情報交換を行っています。

3 キャリア教育に関する小中連携の研修会（大島ブロック）

キャリア教育の地域指定を受け、校区の 4 校教職員で構成され、小・中学校を通して子どもに身に付けさせたい力や、各学校でのキャリア教育の取組の情報交換、小・中学校間の相互の授業参観、出前授業等を実施しています。また、中学校の総合的な学習の一環として、小・中学校で連携した活動も実施しています。



小中合同「掃除に学ぶ会」でのトイレ掃除の様子（H22）

主な活動の紹介

平素の環境支援、教育支援（読み聞かせ等）、スクールガード活動以外の中学校の事例紹介

■活動事例1「剣舞」

大島遠崎地区には、幕末の僧月性の剣舞が伝わっており、例年2年生は体育祭と3学期の立志の集いで披露しています。8月と1月に、地元の剣舞保存会の方に指導をいただいています。

遠崎小学校出身者は経験していますが、その他の小学校出身者は、剣舞を披露する先輩の姿を見ているものの実際に道衣を着て太刀をもつのは初めてであり、郷土を学ぶ良い機会となっています。



■活動事例2「橘香酢づくり」

大島地区では、以前よりみかんの栽培が行われ、橘香酢（きっかす）は、摘果されたみかん果汁100%の酢で、市の特産品として認定されています。

大島地区生活改善実行グループ連絡協議会の方々の御指導のもと、「橘香酢（きっかす）」づくりを行い、その様子を文化祭でも発表しました。

生徒は地元の特産を振り返るとともに、指導者にとっても活動を若い世代に伝える機会となりました。



■活動事例3「全校合唱指導」

11月に行われる校内文化祭及び小中音楽祭に向けて、平素から取り組んでいる全校合唱のより一層の充実を図るため、民間の合唱団等で全県的に活躍されている合唱指揮者から6回にわたり歌唱指導をしていただきました。指導者は本校のOBであり、生徒は先輩に親しみを覚えつつ平素できない指導を受け、見違えるような演奏を披露してくれました。



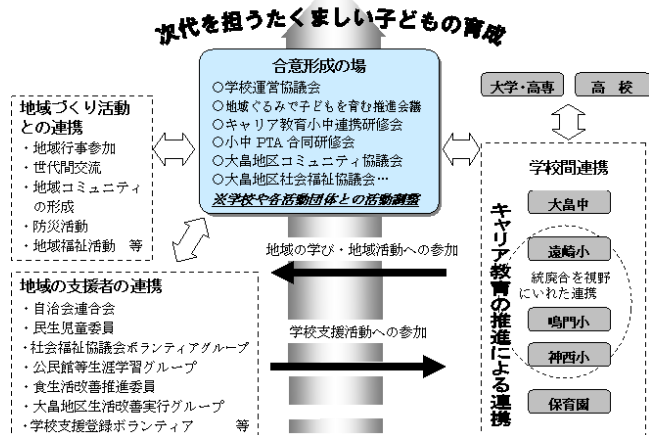
今後の取組

地域の方々による学校支援ボランティア活動も定着しつつあり、今後、より充実した活動とするために以下の取組を実施します。

【今後の取組の方向】

- 小学校の統廃合（H25）を踏まえ、各小学校の取組の整理統合を図る。
- キャリア教育の視点から小・中学校間における「子どもにつけたい力」を共有する。
- 校区全体の調整・連絡を行うコーディネーター機能の強化を図る。
- さらに多くの地域人材の参画と活動機会の充実を図る。（PTA等若い世代の参画）
- 学校情報の積極的な公開と地域情報収集を行う。

平成25年の小学校の統廃合を踏まえ、小中一貫教育を推進するとともに、「ふるさと大島の中で学び、大島を愛する子ども」を育みます。



コーディネーターさんにインタビュー

Q：大島地区の良さをどのように子どもに伝えていきたいですか？

A：この地区は古くから人の往来があり、人と人とのつながりが豊かな地区です。また美しい自然を次世代に引き継いでほしいと考えています。子どもには、この地域で学べて良かったという経験をさせたので、いろいろな地域の良さを伝えていきたいと思います。（中学校コーディネーター）